

【令和3年度実施計画】新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業（実施状況・効果検証）

No	所管課	事業名	事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	総事業費					実績及び成果 （可能な限り定量的な指標で）	評価・検証・課題
							国庫補助額	交付金 充当額	起債額	その他		
合 計						215,224	0	208,881	0	6,343		
1	観光企画課	事業継続支援事業	①事業所支援 新型コロナウイルス感染症の影響により、売上げが減少している町内に住民登録を有する個人事業者及び町内に主たる事業所を有する事業者、町内で施設運営する観光関連事業者について、1事業者につき100千円の給付を行う。 ②③ ○給付金33,400千円（100千円×334件） ○広告料110千円 申請受付事務手数料98千円 ④中小企業、個人事業主等	R3.6.24	R3.9.10	33,608		33,608		0	【給付実績】 334件 33,400,000円	【評価・検証】 令和3年1月～6月の売り上げが前年比50%減の中小事業者に事業継続のための支援金として1件あたり10万円を交付。 様々な業種の事業者の事業継続の下支えをすることができた。 事業の効果は得られたと認識している。 【課題】 特設課題等はなかった。
2	観光企画課	まちなか商品券事業	①町内の消費促進を図り、地域経済を支援 ②③ ○まちなか商品券事業補助金102,434千円（商工会へ） 商品券99,637千円（町民1人あたり7千円） 商品券作成・換金事務費2,797千円 ○事務費1,574千円（町の事務費） （印刷費148千円、郵便料473千円、広告料110千円、交付委託843千円） ④南紀くろしお商工会、地方公共団体	R3.6.21	R4.2.14	104,009		104,000		9	商品券配布実績 100,289,000円（@7,000円×14,327人） 商品券利用実績 99,636,500円（99.35%）	【評価・検証】 前年度に引き続き地域経済を支援するために実施。町民に町内で使える商品券7,000円分を配付し、町内で使ってもらうことで、町内事業者の支援に加え、町民の支援にも繋げるものとした。 事業の効果は得られたと認識している。 【課題】 特設課題等はなかった。
3	観光企画課	観光バス助成金交付事業	①緊急経済対策として、観光バスへの助成事業を行い、誘客促進を図る ②③那智勝浦町から観光機構（DMO）へ補助金5,100千円を支出し、誘客促進のため観光バスの助成事業を実施。那智勝浦町に訪れてくれる観光バス1台につき最大50千円を助成する。 ○町内観光バス助成（小計5,000千円） 30千円（1台につき10～19人乗車）×台数 50千円（1台につき20人以上乗車）×台数 ○振込手数料等事務経費100千円 ④旅行会社、バス会社	R3.6.25	R4.3.15	3,014		3,000		14	【事業実施効果】 バス誘致台数 63台 人数 2,189名 交付金額 2,990,000円	【効果・検証】 昨年度に引き続き実施。町に外からのお客様を呼び込み、宿泊や飲食、土産物購入など地域の消費喚起につながった。 事業の効果は得られたと認識している。 【課題】 令和3年度においても、周期的に新型コロナウイルスが感染拡大したため、一部催行キャンセルが発生した。
4	観光企画課	地域公共交通運行継続支援金事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により、売上げが減少している町内に事業所を有するバス、タクシー、観光船等の旅客等運送事業者保有車両台数に応じて、運行支援金を支給し、事業継続を支援 ②③ ○バス事業者1社2,500千円 タクシー事業者2,800千円 船舶事業者600千円 （1法人500千円の基本額に、バス・船舶1台につき100千円、タクシー1台につき50千円を上乗せして支給） ④町内の旅客等運送事業者	R3.6.18	R3.7.15	5,900		5,900		0	【給付実績】 5件 5,900,000円	【効果・検証】 コロナ禍により売り上げが減少した町内に事業所を有する旅客等運送事業者に、保有車両台数に応じて運行支援金を交付。バス、タクシー、観光船など幅広い事業者の運行継続を支援した。 事業の効果は得られたと認識している。 【課題】 特設課題等はなかった。
5	消防本部	消防救急業務感染防止対策事業	①救急業務での感染リスクを軽減するため、救急用資機材を購入し、受入体制を強化する。 ②③ ○救急用資機材3,900千円（低濃度オゾン発生装置、自動式心マッサージ器一式、空気呼吸器面体） ④地方公共団体	R3.6.10	R3.10.15	3,901		3,900		1	低濃度オゾン発生装置を那智勝浦町コミュニティ消防センター会議室に設置 自動式心マッサージ器一式を救急車に配備 救急現場活動での使用実績 4件 空気呼吸器面体を使用した実績 現場活動 7回 訓練回数 208回	【評価・検証】 低濃度オゾン発生装置については、那智勝浦町コミュニティ消防センター会議室を使用するたびに稼働させて感染防止を図っている。新型コロナウイルスの不活性化を行い、感染リスクを抑えることができたと考えられる。 自動式心マッサージ器については、導入により過剰な傷病者との接触を控えることができ、隊員の感染リスクを大幅に抑えることができたと考えられる。 空気呼吸器用面体については、隊員間で共有していたものを個人支給、個人管理とすることで飛沫、接触等の感染リスクを大幅に抑えることができたと考えられる。 結果として、当消防本部職員において、消防救急業務に従事して感染したと思われるケースは出ていない。以上のことから、事業目的に対する効果は十分得られたと考えられる。 【課題】 引き続き、飛沫感染、接触感染等の感染リスクを軽減させるため、新型コロナウイルス感染症等の感染症対策は必要である。

No	所管課	事業名	事業の概要 (①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠 (対象数、単価等) ④事業の対象 (交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費				実績及び成果 (可能な限り定量的な指標で)	評価・検証・課題
						国庫補助額	交付金 充当額	起債額	その他		
合 計						215,224	0	208,881	0	6,343	
13											
14	消防本部 病院	医療従事者等支援事業	①新型コロナウイルスへの感染が疑われる患者に対応する医療従事者の支援を目的に、医療従事者に支給される特殊勤務手当を全額負担する。 ②③ ○防疫等作業手当9,999千円 (3,000円×3,333回分) ※町立病院については、一般会計からの繰出を行う ④医療従事者	R3.5.17	R4.3.31	5,521		5,521		0	<p>【消防本部】 防疫作業手当合計 911,000円 退職者 1人</p> <p>【病院】 防疫作業手当合計 4,685,000円 新型コロナ対応を起因とする職員の離職 1人</p> <p>【評価・検証】 (消防本部) 新型コロナウイルス感染症の罹患者又はその疑いのある者に対して従事した職員に対して手当が支給された。業務遂行に当たり、相当程度心身に負担がかかっていたと考えられるが、退職者は最小限にとどまり体制を維持することができた。 (病院) 院内クラスターが発生するなど、流行期は外来・病棟ともに多忙を極め、スタッフの心身への負担も過大であったが、離職数は最小限にとどまり、また年度中の新規採用職員も平時と同水準確保でき、診療体制を維持することができた。 以上のことから、事業目的に対する効果は十分得られたと考えられる。</p> <p>【課題】 コロナ禍以前には自己都合による退職者はなかったが、各年度ごとに1人退職者を出している。相当程度心身に負担がかかっていたと考えられる業務であることから、引き続き同様の手当の継続が必要と考えられる。</p>